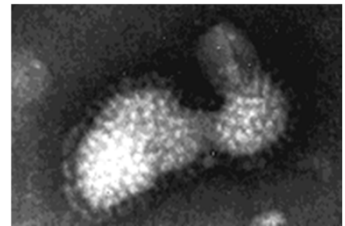


インフルエンザ

インフルエンザウイルスとは

インフルエンザウイルスは内部構造の違いによりA型、B型、C型に大きく分けられます。このうち、ヒトの間で大きく流行するのはA型とB型です。

インフルエンザウイルスは、表面がHとNという糖たんぱく質の突起で覆われています。この突起の組み合わせの違いにより、A/H1N1 (pdm09) 型・A/H3N2 (香港) 型等に分けられます。



インフルエンザウイルスの電子顕微鏡写真

症状

発熱（38℃以上の高熱）、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛、咳、鼻汁などの症状がでます。いわゆる「かぜ」に比べ全身症状が強いのが特徴です。

予防法

予防の基本は、流行前に予防接種を受けることです。また、インフルエンザ・かぜの一般的な予防として次のことを心がけましょう。

- ★十分な栄養と休養をとる。
- ★人混みを避ける。
- ★室内の乾燥に気をつける。
- ★手洗いとうがいの励行。

インフルエンザウイルスの検査方法

病院での検査は、迅速診断法（イムノクロマト法）が一般的です。福岡市保健環境研究所では、より詳しい検査を実施しています。

